



学校だより

互いのよさを認め支え合い協働する児童の育成に向かって



発行日
R4.6.29
発行者
新垣 典彦

☆☆ 読み聞かせ開始 ☆☆



5月24日(火)は、今年度の読み聞かせがスタートしました。従来、各教室へ大人が入っての読み聞かせでしたが、今年度からはハイブリッドも多用されました。ハイブリッドとは、1つの教室は直接観て、その他の学級は配信された映像を、大画面の電子黒板で観るといふものです。



タブレット



課題も見つかったようで、教室外からの配信では「子供の反応が見えず」寂しい。タブレットで「しっかり撮れているか不安」「置き方によっては絵本が見えない」などの声が上がりました。



タブレット

それでも、読み聞かせ中の子供達の集中した顔を見ていると、やっぱり読み聞かせの力ってすごいなと感じます。

方言・手話の外部講師



うちなーぐちクラブ

5月30日(月)は、本格的にクラブ活動がスタートしました。「うちなーぐちクラブ」や「手話クラブ」では、昨年度できなかった外部講師を迎えての実施となりました。



手話クラブ

実生活にはなかなか体験できないことをより身近に感じながら、様々なことを学んでほしいと思います。

活気：拡大常任委員会



5月30日(月)は、本校PTAの拡大常任委員会が開催されました。総勢80名余りの保護者と教職員が集うのは、何年ぶりでしょうか。例年よりも多いという話も出ました。コロナ禍ではありますが、会場からは、子供達の学校生活をより充実したいと思う気持ちが強く感じました。各学年・各専門委員

会・東っ子フェス実行委員会・読み聞かせ等、様々な形での子供達への支援、心より感謝いたします。1年間、どうぞよろしくお願い致します。

ご協力に感謝①立哨



専門委員会でもなく、影ながらの小さな活動ではありますが、**校長としてとて感謝しているのが朝の立哨活動**です。感激しているのは、昨年と比べて立哨活動をしてくださる**保護者の方々が**増えていると感じるからです。(直接、お礼を伝えられない方々がいるのには心苦しいが…)



任意の活動ですから「参加しなくても…」と思う気持ちが湧いてくるのは当然のこと

です。そのうえで、**我が子以外の子供達のために時間を割いていただいているのですから**ね。中には「孫が通っていますから…」と**祖父母の方々の姿**もあります。私自身も見回りしながら、**まだヒヤリとする場面に出くわす**ことがあります。朝の貴重な時間ではありますが、子供達の安心・安全のため、ご協力いただける保護者が増えるのを願っています。逆に、**登校時の校内への車の乗り入れは減っておりません**。合わせて、ご協力お願いします。

ご協力に感謝②募金



5月30日～6月3日の期間は、ユニセフへの募金活動を行いました。6年生のボランティア委員会を中心に朝の登校時間を使っての回収となりましたが、**実は昨年度、実施していないのです**。(実際は、12月の赤い羽根募金の期間に実施しましたが、メインの実施ではなく、募金した子供達もユニセフ活動への関心は弱かったと思います。)

写真は、回収当初の様子ですが、**大きな紙には名前が入った回収袋が張られています**。これがどんどん増えていくものですから、私も嬉しくなり、予備の袋を貰って募金への協力をしました。

苦労が増える!?

昨年度、コロナ禍で「マスクが落ちている」との地域の声から、私の朝のゴミ拾いと安全指導が始めました。4月までは、減っているように見えたゴミですが、人流が活発になったせいなのか近頃は、増えています。(残念)



目立って増えたのが「**ペットボトル・空き缶**」です。空き缶の中にゴミや飲み残しがあり、その他のゴミと比べても苦労が多い。半面、朝は多くの地域の方々と会えます。庭先で作業をしている方、子供と一緒に登校している方、登校や出勤途中の学生や大人の方々など、最近では、相手方から挨拶をする方が増えとても嬉しくなります。**やってみると気付かされる**ことがあり、**地域の温かさを毎日のように感じています**。地域との繋がりが薄くなったこの時期に何かできないかと考えると大切な活動に思えてきます。**継続宣言! 出会ったら声をかけて下さい**。